

海外安全対策情報 令和3年度第2四半期（7月～9月）

1 社会・治安情勢

9月5日、コナクリ市カルム地区において、激しい銃撃が発生しました。ギニア国軍の一部兵士は、コンデ大統領を拘束し、同国憲法の停止と、陸と空の国境閉鎖を宣言しました。現在、陸と空の国境は全て開放されていますが、今後の政情の見通しは不透明であり、不安定で混乱が続く可能性が排除できません。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

全国各地で強盗が多数発生しています。幹線道路沿いでは、長距離バスやタクシーを狙った武装強盗事案も発生しています。

（1）一般犯罪・凶悪犯罪事案（主な事件）

ア コヤ県

7月、トラックを狙った武装強盗が発生し、大量の食料品が奪われました。

イ コナクリ市

8月、バイク強盗の容疑者が住民に捕まり暴行を受け、その後警察に逮捕される事件がありました。

ウ ダボラ県

9月、夕方に車両強盗が発生し、金200kgを奪われました。

（2）邦人被害事案

在留邦人の被害事案は確認されていません。

（3）在留外国人（邦人以外）の被害事案

在留外国人の被害事案は確認されていません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

ギニア国内ではテロ・爆弾事件は発生していませんが、治安当局は昨今の西アフリカ諸国におけるテロ発生を受けて、主要なホテルや公共施設に治安部隊を配置し警戒に当たっています。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

在留邦人、在留外国人の被害事案は確認されていません。

5 対日感情

ギニア国民の対日感情は概ね良好です。

6 日本企業の安全に関わる諸問題

ギニア国民の対日感情は概ね良好であることから、日本企業であることを理由に犯罪の標的になる可能性は低いと思われます。

以上